

▼今月の「ポピー」の国語で学習するおもな内容と大切なことがあります。

□の数字は、教科書のページ数です。

2年 きつねの おきゃくさま □ 71~87

- やせたひよことあひるとつたぎを、一緒に太らせてから食べてやろうとするきつねの物語です。
- よく似た出会いの場面を通して、きつねの考え方の変化を読み取ります。
- 最初にやせたひよこと出会う場面。
- やせたあひると出会ったひよことあひるの会話をかげで聞く場面。
- ひよこ達のために、おおかみと戦つ場面。



4年 ぞろぞろ

□ 77~95

- 落語を文章で読み、演じたりして、古典芸能に親しみ、おもしろさを味わいます。
- 1 さびれた茶店のおじいさんが、店のそばの小さな神社ののぼりが落ちているのを拾つて届けた。
- 2 ひどい雨降りになつて、茶店に雨宿りの客が次々に来る。客は出がけにわらじも買つて、いぐが、売り切れたらすのわらじが、天井からぞろぞろ、なくなることなく出していく。
- 3 意外な結末とは……。



6年 川とノリオ

□ 69~91

- 表現を味わいながら、登場人物の気持ちや場面の様子をとらえ、主題を読み取ります。
- 1 川を背景に、父親を兵隊にとられ、母親を原爆で失いながらも、祖父と生きていくノリオの運命を描いた物語です。
- 2 川の様子が、人物のどんな気持ちを表しているかを読み取るんじや。



川の様子が、人物のどんな気持ちを表しているかを読み取るんじや。

1年 おおきな かぶ

□ 82~91

- 大きなかぶを抜くために、人間と動物が小さな力を一つずつ合わせてくといつ民話です。
- リズミカルな言葉の繰り返しのおもしろさに気付きます。
- 協力することの大切さに気付かせます。



3年 紙ひこうき、きみへ

□ 71~89

- しまりすのキリリが、みけりすのミークと出会い、変わっていく物語です。
  - キリリとミークの人物像をとじて、ミークとの出会いによるキリリの気持ちや行動の変化を読み取ります。
- 1 出会った時から、ずっと仲よしだつたみたいな気持ちになったキリリ。
- 2 ミークが「心が重たくなるから、忘れるのは大切なこと」と言うのを聞いて、悲しくなるキリリ。
- 3 時が経ち、ミークが旅立つ時が来た。ひとり残されたキリリは……。
- 4 最後に、キリリは旅行かばんを手に歩き出すよ。



5年 漢文に親しむ

□ 66~69

- 漢文…昔の中国の書き言葉。日本人も昔から工夫して読み、中国の詩や文章に親しんできました。
  - 春眠不覚曉  
处处聞啼鳥  
夜眠春眠  
處處聞啼鳥
  - 声に出して読み、そのひびきを味わいましょう。
- ・故きを温ねて  
新しきを知る
- ・春眠不覚曉  
处处聞啼鳥  
夜眠春眠  
處處聞啼鳥
- 熟語の  
温故  
新  
だね。

